

7月15日に相馬小学校の青空りんご体験教室が行われ、袋掛け作業を行った。

始めに農業振興課米澤主任からなぜ袋掛け作業を行うのか説明があり、児童らはりんごが赤くなる理由や紫外線との関わりにイメージを膨らませながら聞いていた。

園主の佐久間さんから袋掛けの説明を受け、児童らは「むずかしいなあ」と言いながらも理解しようと真剣に聞き入っていた。

作業は児童一人に対して女性部を始め保護者の方々にサポートしてもらいながら行った。

児童らは「教えてもらいながらも難しい。」といいながらも楽しく作業していた。次第に児童らは一人でも出来るようになり、女性部らに喜びを伝えていた。

今回の作業に一苦労した児童らは毎年この作業を行っているお父さんやお母さんを尊敬していた。

児童らは9月に行われるシール貼り作業を楽しみにしていた。

青空リンゴ作業体験教室 ～袋掛け作業～



一生懸命伝わるよう説明する佐久間さん



丁寧に教える女性部員



理解しようと必死に説明を聞く児童ら



真剣な眼差しで取り組む児童



袋にはオリジナルの絵を描いていた



教頭先生、地域おこし協力隊も初挑戦

